# 2020年度第2回

# ECCアーティスト美容専門学校　学校関係者評価委員会　議事録

学校法人山口学園ECCアーティスト美容専門学校　学校関係者評価委員会は、2021 年 3 月 8 日に「2019 年度自己評価報告書」に基づいて学校関係者評価委員会を実施しましたので以下のとおり報告いたします。

2021 年 3 月 31 日

学 校 法 人 山 口 学 園
ECCアーティスト美容専門学校
学 校 関 係 者 評 価 委 員 会

1.　学校関係者評価委員（「ECCアーティスト専門学校　学校評価実施規定」選出区分）

【関連業界等関係者「同第 12 条第 1 項（1）」】

委員長

宮崎　裕輔　氏　（株式会社クラフトワークス　人材開発部）

芦田　貴子　氏　（永倉　瑞江　氏　（一般社団法人JMA　取締役　検定事業本部本部長）の代理参加）

【卒業生「第 12 条第 1 項（2）」】

高野　圭梨　氏　（ECCアーティスト美容専門学校卒業生）　欠席

【保護者または地域関係者「第 12 条第 1 項（3）」】

中上　隆雄　氏　（済美地域社会福祉協議会　会長）

【その他校長が必要と認める者「第 12 条第 1 項（4）」】

助川　晴彦　氏　（中井万佐彦　氏　（資生堂プロフェッショナル株式会社　営業部部長）の代理参加）

貴治　康夫　氏（立命館高等学校）

【ECC アーティスト美容専門学校　学校長】

中村　竜二

【同席者】

川添　雅英　ECCアーティスト美容専門学校　副校長
辻浦　誠司　ECCアーティスト美容専門学校　学科長
兼田　寛子　ECCアーティスト美容専門学校　進路指導課
北口　博一　ECCアーティスト美容専門学校　入試課
西村　宗博　ECCアーティスト美容専門学校　教務課

開催日時：2020 年 3 月 8 日（月）17：30～19：30
場　　所：ECC アーティスト美容専門学校 1 号館 302 教室
2．討議内容

**自己評価報告書に基づき**

中村：　本日は第 2 回の学校関係者評価委員会につきましてご参加いただきましてありがとうございます.貴重なご意見をさまざまな角度からいただいて本校のカリキュラムに反映させていただきたいと思います。

宮崎氏：司会をさせていただきます。宮崎です。本日はよろしくお願いいたします。

**基準 2**

助川氏：在宅勤務が中心で出社減らしているため Teams で会議を行っている。
全国会議（300 名程）も ZOOM で行ったが音声のみであったためなかなか意思疎通が取りにくく厳しかった。

貴治氏：本校においては、ZOOM と Slack と Google　classroom を使用している。ネット環境を強化した。iPad を新入生に配布している。会議はすべて ZOOM を使用している。学校内でも ZOOM で行っている。

中上氏：地域のイベントについては、2020 年は全て中止した。地域の活動はイベントがないと盛り上がらないが年寄りが多いので出てこれない。IT 化はなかなか進まない状況である。

芦田氏：緊急事態宣言を機に全てテレワークに変更した。事務所も縮小した。オンラインでの講習を行っており、オンライン上でメイクを教えていくのはまた違う苦労があった。学校にもアドバイスができるようになった。ZOOM でのメイクレッスンも必要になってきていると感じている。

中村：　基本的には対面授業を重視してきた。しかしコロナ禍で対応せざるを得なかった。
今年は iPad を配布となったため IT 化を進めた。

**基準 3**

辻浦：　2020 年度からコース別の教育課程編成委員会を設置した。

宮崎氏：御校は学生を思っている度合いが高い。年々良い方向に変化していると感じる。
意見の反映が早く変化を感じることができる。インターンシップも学生をフィットさせようとする姿勢が学校にあると感じる。一緒に色々やっていきたいと考えている。

貴治氏：教育課程は各コース何人の参加者で実施しているのか？

辻浦：　企業様から 2 名～3 名　　その分野の協会や団体から 1 名　教職員を含めて各コース 10 名程度。

宮崎氏：授業内容をもっと SNS 発信すべきだと思う。

北口：　LIVE は厳しい。技術の流出やプライバシーの問題で厳しい。授業の様子を出さないといけない。

宮崎氏：もっと授業の雰囲気や学生と先生のやりとりが知りたいのではないか？

北口：　検討していきたい。

中村：　イベントの内容も以前より意見の聴取をして良くしていきたい。

辻浦：　セミナー演者/講師が同じ学校にいるがセミナーを別教室で配信を行った。E コレも配信も行った。

中村：　配信してリアルの観客者数の倍の数の視聴数があった。

辻浦：　コロナ禍で心配したが、例年より学生による学校アンケート結果が良かった。対面授業の良さも再開してから実感していると思う。

貴治氏：授業に関しては ZOOM で行っていたが今は対面に戻っている。ダンボールで衝立をしている。
不登校気味の学生には本校でもオンライン授業の評価が高かった。
実技を伴う教科や体育授業に対するコロナ対策はしやすかったが接触するスポーツは中止。
理科は窓や戸を開けて実験などを行った。
音楽の授業は、歌は禁止。広いホールを使用した。学生は体調良くても家族に出ると陰性でも 1 週間通学停止。教室の椅子や机に抗菌処理をしている。

辻浦　：オンデマンドは繰り返し見ることができる利点がある。

貴治氏：準備が足りない先生の評価が低いのはよくわかる。
ネットワークのシステムに対してのリテラシーの差があるので低いとストレスが厳しい。
今後は対面と通信授業の併用になっていくと思う。ライブでもオンデマンド（youtube)でも評価は良かった。

辻浦：　JMA 様はどうか？

芦田氏：相モデルができなかったのがむずしかったが、リアルでない時にも対応できるようになる必要性が出てきている。

**基準 4**

就職状況
兼田：　20 年度は相当厳しかったが 21 年度の方がもっと厳しい状況に感じる。
ビューティアドバイザーとブライダルが特に厳しい。ビューティアドバイザーコースの一部は、エステの会社に入社している状況も見られる。
ヘアメイクのアーティストプロジェクトもコロナ禍で厳しい状況の中で進めている。東京に行く学生が多い。

辻浦：　コロナ禍の影響でさらに厳しくなる状況で見通しはきつい。
美容サロンの状況はどうか？

宮崎氏：レセプショニストは過去最大級の採用となった。CA の学校や大学生が多かった。
インスタライブでの中継が良かった。

辻浦：　美容師免許は必要か？

宮崎氏：不要。受付・顧客管理が業務の中心となる。

助川氏：インバウンドで積極採用だったが、今は厳しい。サロンの状況は採用の競争率が高まっているように思う。

芦田氏：一般の方の受験者が増えている。動画配信をしたり ZOOM でのメイクで映えを意識したい。色々な形で美容には携われることを伝えたい。

**基準 5**

辻浦：　退学率は今年度改善する見込みで推移。無償化も影響していると思う。

中村：　無償化 110 名が本校から申し込んでいる。

貴治氏：無償化はかなり休退学率には意味がある。

**基準 6**

辻浦：　校舎満足度がこれまで厳しい状況であった。

中村：　エアコンは昨年度、トイレは今年度で切り替える。
このあたりの不満は下がるのかなと考えています。
全ての教室にテレビ設置となる。
2 号館の 1 階にデジタルサイネージを設置する。IT をすすめていくことを象徴する。
オンライン面談用のブースも作る。

辻浦：　次回は完成を見て頂いけると思う。

**基準 7**

北口：　軒並み募集イベントは中止、ただオンラインの良さはあった。
遠方から参加しやすい環境になった。個別で丁寧なケアができた。高校生対象に学校アプリも導入した。

貴治氏：留学生は？

北口：　4 名を予定している。今年度は多い方で 0 の年もある。留学生に対応した部署が対応している。

中村:　美容は就労ビザが出ないため、帰国が前提となる。ビザ緩和されたら増やしていきたい。

**基準 10**

辻浦:　地域貢献活動　ほとんど 2020 年度はできていない。

中上氏:行動指針が出ているが緊急事態宣言解除以降少しは改善された。
クリーン中崎は実施している。

辻浦:　他の地域貢献活動等再開したらまたお願いしたい。

中上氏:ぜひ協力していただきたい。

中村:　学生にとって何が大事なのかを考えしっかりと伝えて教えていきたい。

＜了＞